

市民の方から寄せられた市政へのご意見や感想などを紹介します。

**意見** 3月からマスク着用の考え方が変わると聞きましたが、どのように変わったのでしょうか？

**回答** マスク着用について国から方針が示され、3月13日⑧から、マスク着用・非着用は個人の意思・選択を尊重し、個人の判断に委ねられることになりました。ただし、周りの方や自身を感染から守るため、次のような場合には、マスクの着用を推奨しています。

マスク着用が効果的な状況

- ①医療機関や高齢者施設などを受診・訪問するとき
- ②混雑した電車やバスに乗車するとき
- ③高齢者や妊婦、基礎疾患を有する人など、重症化リスクが高い人が感染拡大時に混雑した場所に行くとき

マスク着用・非着用に対する批判的な発言や行動、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないように、ご理解とご配慮をお願いします。

市の施設での対応

**利用者** 来庁時のマスク着用・非着用は、ご自身の考えで判断してください

**職員** マスク着用・非着用は、職員も個人の判断を基本としています。職員がマスク非着用の場合で、着用しての対応を希望される際はお申し出ください

事業者が、感染対策上または事業上の理由などによって、利用者や従業員にマスク着用を求めることは許容されます。

また、手洗いや換気の徹底など、基本的な感染対策は継続をお願いします。



市 HP  
(マスク着用の考え方)

⑧新型コロナウイルス感染症特別対策室 ☎ 24-1111

広報アンケート

「広報させば4月号」満足度アンケート

次の①～④のうち、当てはまる番号をお答えください。

- ①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満

応募方法

「はがき」か「Eメール」または「応募フォーム」に、  
①「広報させば」満足度アンケートの該当番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥広報紙(特集)へのご意見⑦広報紙(特集以外)や市政に関するご意見を書いて、4月20日(木)までに広報係へ(消印有効)。  
※応募は1人1通、応募者の中から抽選で決定します。発表は発送(5月中旬)をもって代えさせていただきます。

2月号のアンケート 230通

4月号プレゼント

20名様

道の駅させばくす99  
佐世保海軍ソフトクリーム 引換券



ことしオープンして8周年を迎える道の駅させばくす99。現地で販売されている海軍コーヒーを使った人気の佐世保海軍ソフトクリームの引換券をプレゼントします。他にも魅力的な佐世保の特産品を販売していますので、どうぞお越しください。

⑧道の駅させばくす99 ☎ 42-6077



左記の画像を読み込むと応募画面が表示されます

宛先

はがき 〒 857-8585 (住所不要) 佐世保市役所秘書課広報係宛  
Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp (携帯電話からも可)

もっと快適な生活道路へ  
ゾーン30 プラスを新たに整備します

生活道路における、人優先の安全・安心な通行空間の整備をさらに推進するため、道路管理者と警察が緊密に連携し、地域住民等の合意形成を図りながら整備を行う「ゾーン30 プラス」。3月末に市内で新たに2地区の整備を行いました。

ゾーン30

区域(ゾーン)内の全ての道路が、最高速度時速30km規制となる交通規制です。時速30kmを超えると、歩行者の致死率が急激に上昇します。ゾーン内の速度規制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制などを図るものです。

ゾーン30 プラス

最高速度が時速30kmの区域規制「ゾーン30」と、スムーズ横断歩道、狭さく等の物理的デバイスとの適切な組み合わせによって、交通安全の向上を図る区域です。ゾーン30やゾーン30 プラスの指定については、一定の条件が必要です。

新たに整備した区域(ゾーン30 プラス)

高砂町・天満町地区(スムーズ横断歩道)

- ハンブ  
自動車が減速することを目的に、道路の一部をなだらかに10cm程度隆起させる部分。
- スムーズ横断歩道  
速度抑制効果の高い、路面を盛り上げたハンブを組み合わせた横断歩道。歩道と横断歩道の高さを同じにするので、歩行者が横断歩道を渡りやすくなります。



スムーズ横断歩道

卸本町・大塔町地区(狭さく、路面カラー舗装)

- 狭さく  
車両の走行速度を抑制するもの。抜け道として利用する自動車が多く、走行速度が高い危険な道路について、自動車の通行部分の幅を物理的に狭くすることによって、運転者が速度を低減することが期待されます。



狭さくによって狭くなった道路

問い合わせ 道路維持課 ☎ 24-1111

徳育通信 132

聞いて「徳」する話 92 広がる感謝の気持ち

私が昨年12月から約1カ月間、佐世保市総合医療センターへ入院した時の体験です。

病院で働いているスタッフの方々の患者さんに対する姿勢が、大変謙虚でとても優しいのです。処置をする時も、まずは患者さんに対して「ごめんね」と声を掛けることから始めて、「ありがとう」「大丈夫」と続きます。まるで、スタッフの方が担当させてもらって良かったと思われるような振る舞いをされていました。おそらく、病院全体での取り組みなんだろうと思います。心が温かくなりました。

おかげさまで、入院していた私まで感謝の気持ちを自然と言葉にできるようになりました。思いやりのあるスタッ

フの方々のおかげで、私もこれから感謝の気持ちを忘れずに過ごしていこうと心に決めて、とても晴れやかな気持ちで退院することができました。

(匿名希望)

「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからもダウンロードできます。

⑧佐世保徳育推進会議 ☎ 23-2856